

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力をお願い

昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

コロナ禍における電話診療とポリファーマシーの関連に関する後ろ向き観察研究

1. 研究の対象および研究対象期間

研究の対象：昭和大学病院・附属東病院の外来受診された患者さん

研究対象期間：2018年1月～2021年2月

2. 研究目的・方法

昨今のコロナ禍において、感染症予防のために、病院受診を、電話診療として行う患者さんも少なくありません。一方で、この電話診療が患者さんの薬の内容や数、状況などについてコロナ禍の影響を踏まえ、どのような状況になっているかは明らかではありません。

本研究では、昭和大学病院および附属東病院を受診した外来患者さんにおける処方せんの内容について調査を行います。具体的には、対面式の外来診療を受けた場合と、電話診療を行った場合における処方薬の増減や内容の変更の違いがあるかどうかについて調査を行います。

患者さんの診療録を閲覧させていただき、情報をまとめるため、患者さんへの新たなご負担はございません。

本研究では、診療録等を用いて、「3. 研究に用いる試料・情報の種類」に記載する内容を調査いたします。また取得した情報は、研究者間でのみ共有いたします。

研究期間

医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、昭和大学病院病院長、昭和大学病院附属東病院病院長の研究実施許可を得てから2023年4月30日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、外来患者を対象とし、処方薬の用法・用量・治療期間等、患者基本情報（年齢、性別、身長、体重、病歴等）、臨床検査値、臨床経過、診療録における患者からの訴えおよび医療従事者の記載、入院時のDPCデータ等の情報を中心に診療録の記載内容等を利用します。

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：附属病院薬剤部

氏名：葛城 怜子（かつらぎ さとこ）

住所：品川区旗の台 1-5-8 昭和大学病院 電話番号：03-3784-8467（平日 8:30～17:00）

研究責任者：百 賢二（もも けんじ）